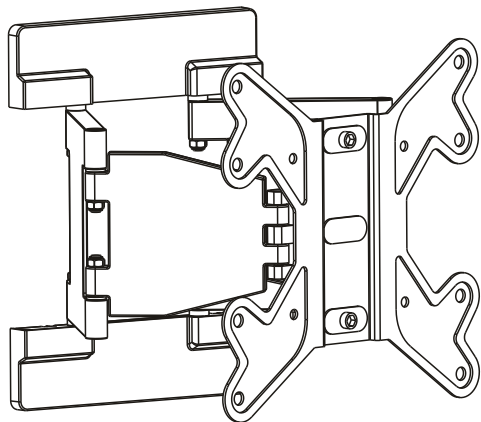


薄型テレビ壁掛け VESA 規格金具  
TV セッターアドバンス

# SA114S

## 設置マニュアル



この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。  
当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。  
しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。  
基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



**組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。**

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はいしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 100×100mm、100×200mm 200×200mm	<b>26-46</b> インチ	<b>20kg</b>

## 設置にあたって：必ずお読みください



必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。

コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。

設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。

以下の場所には設置をしないでください。

- ・振動があるような不安定な場所
- ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ・湿度や温度の高い場所
- ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
- ・開閉するドアの側
- ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



## 設置にあると便利な道具

### 1) 間柱センサー

壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。

細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。

### 2) ドライバー

ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。

### 3) ドリルドライバー

電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。

### 4) ペン

壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。

### 5) メジャー

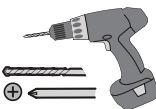
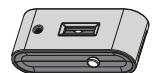
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。

### 6) 柔らかい布

設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。

### 7) 軍手

手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれませんが。



## さあ、設置・・・の前に

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

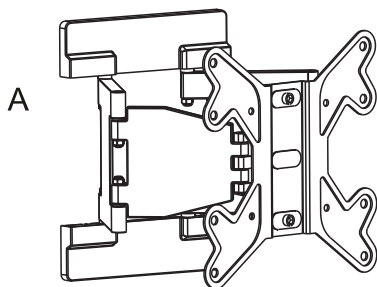
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 100×100mm、100×200mm 200×200mm	<b>26-46</b> インチ	<b>20kg</b>

設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

## 付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

### ●テレビ金具本体



B 六角レンチ



C レンチ



D M6 ナット

### ●ネジパッケージ M (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

M-A



M4×14mmボルト  
4本

M-B



M5×14mmボルト  
4本

M-C



M6×14mmボルト  
4本

M-D



M8×20mmボルト  
4本

M-E



M5× ワッシャー 4個

M-F



M8× ワッシャー 4個

M-G



スペーサー 8個

### ●ネジパッケージ W (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

W-A



壁用ラグボルト  
5.5×50mm - 6本

W-B

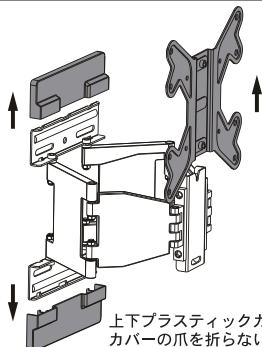


壁面用ワッシャー  
- 6本

※壁の状態によって、少し短めのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご相談下さい。

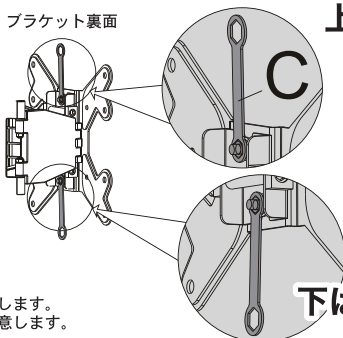
## ステップ 1

## テレビ金具本体の分割



上下プラスチックカバーを外します。  
カバーの爪を折らないように注意します。

ブラケット裏面



上は緩める



テレビブラケットをレンチを使って外します。  
ナットは、上下2か所あります。

- 上のナット  
→少し緩める
- 下のナット  
→外す。無くさないように

下は外す D

[M6 ナット]



※もともと外れている時もあります。  
その場合パーツ袋に入っています。

- 壁面プレート部にあたる上下の黒いプラスチックカバーを外します。
- レンチ [C] を用いてナットを緩めて、テレビブラケット部を外します。

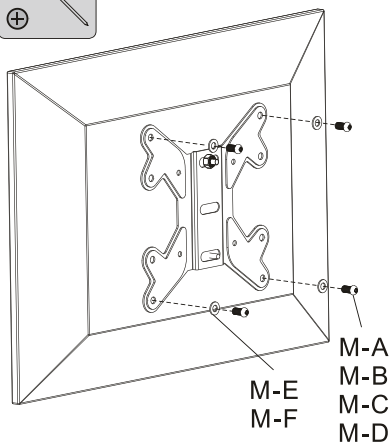


ご注意

- 1) テレビブラケットを外すときは、上下2か所のナットを緩めます。
- 2) 上部のナットは緩めるだけで構いません。下部のナットは完全に外します。  
(下のナット [D] は、もともと外れてパーツ袋に入っている場合もあります)

## ステップ 2

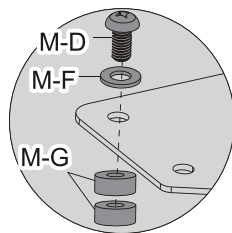
## テレビブラケットの取り付け



ステップ1で取り外したテレビブラケットをテレビに取付します。左記のイラストを見て金具の上下を間違えないようにしてください。ネジ穴を合わせて、ネジ [M-A～M-D] とワッシャー [M-E、M-F] で取付をします。  
テレビに合うネジを使用してください。

### ●ネジの長さが余ってしまう (M-Dネジ使用時) 場合の設置

M8ネジ [M-D] 使用時に、ネジの長さが余ってしまう場合、右図のようにスペーサー [M-G] を金具とテレビの間に挟んでネジ止めします。  
使用するスペーサーの数は、ネジの長さの余り具合によって、1個か2個重ねるかを選んでください。



ご注意

- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一、ネジが合わない場合、取付可能テレビ (VESA 規格対応) で無い事になります。  
お取付が出来ませんので設置作業を中止してください。

## ステップ 3-A

## 壁の強度の確認と下穴の開口



### テレビ壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは、慎重・確実に作業するようにしてください。

壁面への取付不備による事故・損害については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

### 最重要ポイント

**壁裏の間柱や強度の強い壁に設置を！！石膏ボードのみへのネジ打ちでは強度不足です！**

### ●壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

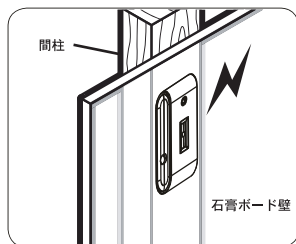
設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分にご注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500 円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。

### ●間柱を見つけたら

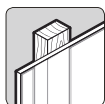
間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。

### ●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。



- 一般的石膏ボード壁の場合  
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。  
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。



間柱に設置を



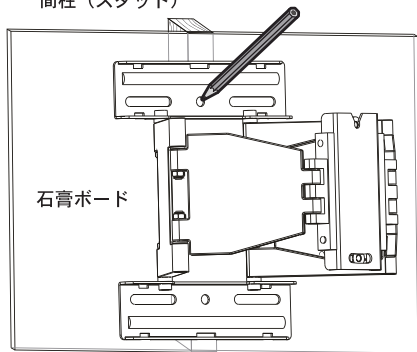
壁裏センサー



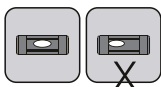
マーキング

希望の高さに  
マーキング

間柱（スタッド）



石膏ボード



目視&水平器等を参考  
に水平に設置を！

### 1) 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、上記を参考に壁裏の間柱（スタッド）を見つけてください。

間柱は一般的に 40～45 センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。

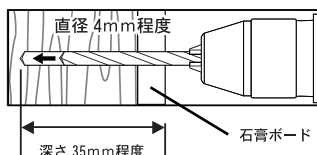
間柱が確定したら、左図のようにネジ穴にマーキングをします。

### 2) ネジ打ち用下穴の開口

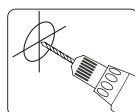
壁を横から見た断面図（下）を参考に、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。

壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。

下穴を開けて置くと [ステップ 3-B] が楽になり、工事の失敗の可能性が下がります。



石膏ボード



下穴は真っ直ぐに  
開けるよう注意を

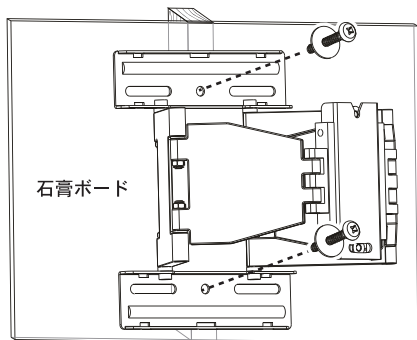
## ステップ 3-B

## 壁面への金具の取り付け



壁へのネジ打ち

間柱 (スタッド) W-A  
W-B



石膏ボード

●左図を参考に 5.5×50mm ラグボルト [W-A] を使用して金具を壁面にしっかりと打ち付けます。



参考

間柱に上下2点打ちで十分な強度が得られますが、より強度を得たい方は、付属のボルトを使用して、より多く打つようにして下さい。石膏ボードの場合、ホームセンターで売っている石膏ボード用アンカーも有効です。



ご注意

**最重要ポイント**

必ず、間柱などに設置を！！

ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら（ネジの空効き等）設置を中断し、専門業者に相談してください。

## ステップ 4

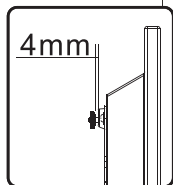
## テレビブラケットと金具本体の組み立て



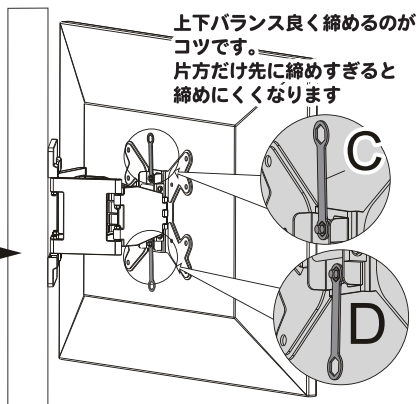
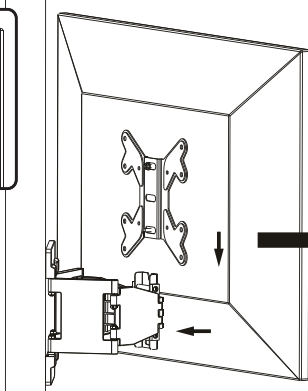
二人での作業を推奨

- ステップ1で外したナット [D] を用意します。
- 上下2つのナットがありますが、上部ナットについて、左下図を参考に約4mm程度緩めて付けておきます。
- テレビとテレビブラケットを二人で持って、壁に取り付けた金具本体に引っかけます。引っかけただけの段階では落下の危険があるので、一人がテレビを支えるようにします。
- 右下図を参考にレンチでナットをしっかりとバランスよく締めます。

上部ナットを4mm程度緩めておきます。



4mm



上下バランス良く締めるのがコツです。  
片方だけ先に締めすぎると締めにくくなります



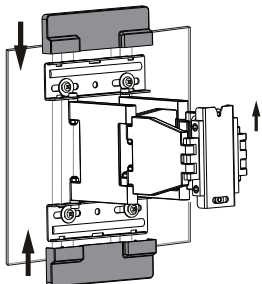
ご注意

**最重要ポイント**

六角ボルトを締めるまではテレビの落下が無いよう細心の注意を払ってください。

## ステップ 5

## プラスチックカバーの取り付け



- 図を参考にプラスチックカバーを取り付けます。
- メンテナンスを考慮して比較的外れやすくなっています。自然に落脱してしまう場合、上下のカバーを入れ替えてカバーの中心部をゆっくり押し込んでください。外れやすさが気になる時は、両面テープ等で固定してください。



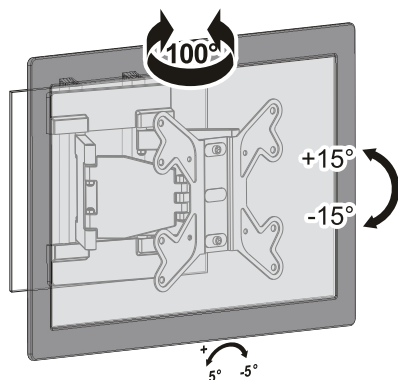
ご注意

### アームを壁に畳んだ状態について

壁に最もアームを畳んだ際に、テレビの荷重によって、若干 (5mm~1cm) 壁から前に出る場合がありますが、動作不良ではありません。

## ステップ 6

## さまざまな角度調節機能について

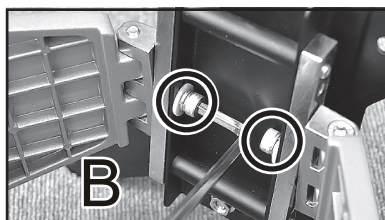


### ●左右角度調節

当商品の最大のポイントです。左右の角度調節が非常にめらかで、簡単です。

### ●上下角度調節

好みの角度を決めたら六角レンチ [B] で固定してください。



## ステップ 7

## 画面水平角度の調節について

- 当商品は、車のハンドルのように画面そのものを回転させる事の出来る機能（5度）があります。仮に設置時に水平を取り間違えた時があった場合もこの機能により調節が可能です。画面を両手で持って、水平を取りたい方向にハンドル回転操作します。



ご注意

### 水平動作に関してのご説明

- 1) 水平動作をしようとする、他の駆動部分（アーム関節部等）もつられて動きますので、少し力を入れて、ゆっくりと行ってください。
- 2) 水平動作は、5度分です。上記の通り、他の駆動部分の動きがある為、一瞬5度以上回転するように感じますが、手を放すと最大5度分に落ち着きます。

## ステップ 8

## 取付の終了と確認

各取り付け部分や壁面を再度チェックしてください。少しでも違和感があった場合、テレビを一旦取り外し、専門業者に相談してください。 ※アームの駆動部には遊びがあります。これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。